

R5 入学式 式 辞

ここ小樽の地にも、日ごとに暖かな日差しが増し、ようやく春の気配が感じられるようになってまいりました。本日、ここに、北海道小樽桜陽高等学校PTA会長横尾英司 様、北海道小樽桜陽高等学校「桜陽会」会長小松田哲弘 様、両名のご来賓の皆様、並びに保護者の皆様方のご臨席を賜り、祝福と激励の下、令和5年度度北海道小樽桜陽高等学校入学式を挙行できますことは、この上ない慶びであります。衷心より感謝申し上げます。

さて、ただ今入学を許可いたしました二百名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校教職員一同、皆さんのご入学を心から祝福し、歓迎いたします。

また、保護者の皆様には、お子様が本日晴れて、北海道小樽桜陽高等学校の生徒として新たな一步を踏み出されたことに対しまして、心からお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。

さて、本校は、明治39年開校の北海道庁立小樽高等女学校を前進とし、現在は進学型単位制普通科高校として、様々な特色ある教育活動を展開し、地元はもとより、北海道、日本全国、世界で活躍する3万8千人を超える多くの諸先輩方を輩出してきた、創立117年を迎える歴史と伝統ある高校です。

本校には、校訓の「賢く 強く 豊かに」と共に、校名の由来でもある「桜陽」という校名訓が代々引き継がれています。その意味は「桜の木は、他の沢山の木々とともに深山に紛れていても、ひとたび花をつければ、その美しさや品格が自ずと際立つ」ということであり、高校生活の中で得た学びが、将来実を結び、有為な人間として社会の中で活躍することに願いと期待を込めたものであるとされています。

皆さんも晴れて本日より、本校の一員として、この歴史と伝統を継承していく第一歩を踏み出していくことになります。

そこで、期待に胸を膨らませ、決意を新たにしている皆さんに、私から、本校での高校生活を始めるに当たり、激励の言葉を三つ贈ります。

一つ目は、「自分の可能性を信じ、夢や目標の実現に向けて、挑戦し続ける強い気持ちを持ち続ける」ということです。

本校での学びを通して、自分の良さや自分の可能性に気づくとともに、自己肯定感・自己有用感を高め、自分の将来の夢や目標を見つけ出し、その実現に向けて一生懸命努力してほしいと願います。WBC日本代表の栗山監督は、人は誰しもが大きな力を持っていて、自分で決めてやり続けていけば、最後には何か必ず大きな答えが出るという信念から、選手に常に「出来るか、出来ないかではない。やるか、やらないか。」「挑戦し続けなさい。そして、自分を信じ続けなさい。」と言い続けてきそうです。新しい時代に生きる新入生の皆さんは、自分の十年後、二十年後の姿を想像し、自らの人生を自分で切り拓いていくためにも、是非、挑戦し続けるという強い気持ちを持ち続けて下さい。高校生活の中では、様々な問題や壁にぶつかることもあります。その時も、自分は無理だと諦めたり、目を背けるのではなく、この気持ちを忘れず、前を向き続け、乗り越えられるよう成長して欲しいと願います。

二つ目は、「自分を開く」ということです。

先入観や固定概念にとらわれず、心も頭も柔軟にすること、幅広く様々なことに興味・関心を持つことで可能性の幅は広がります。古代ローマのカエサル「人は見たいものしか見ない」と言っています。「見たいものじゃない」と決めてしまうと世界が狭くなってしまいます。

新入生の皆さんは、この「自分を開く」ということを挨拶から始めてほしいと願います。言うまでもなく、挨拶は社会の基本、コミュニケーションの始まりですが、元々「挨拶」とは仏教の禅宗の専門用語であり、「挨拶」の「挨」は「迫る」、「拶」は「切り込む」という意味を持ち、「師匠と弟子が互いの境地を確かめ合う」、すなわち、出会いに際し、お互いが悟っているかどうかを見抜く命がけの行為を意味していました。皆さんは命がけにではなくてよいのですが、挨拶には人となりが見えます。自分から目を見て挨拶し、「自分を開く」ことをお願い

します。

三つ目は、「思いやりや優しさの気持ちを育み、常に相手の立場になって物事を考える」ということです。

私たちは、時に、相手に対する配慮に欠けた言動をしてしまいがちです。しかし、世の中は自分一人ではなく、様々な考えを持った多くの人たちが関わりあって生きています。人は、他者との関係性の中でこそ、自分を高め成長できる存在です。チームや仲間と新しいことに挑戦するこれからの時代に求められるのは「多様性を理解し、協働する力」であり、皆さんには、常に相手の気持ちを思いやり、互いを認め合いながら物事を考えられるよう成長して欲しいと願います。

本校は、「自らの課題を発見し、取り組み、自己の進路を切り開く実践者」、「豊かな人間性を備えた社会の形成者」という、自分を活かし、世の中に貢献できる志の高い人材の育成を目指し、一人ひとりの多様な興味・関心、進路目標にこたえる進学型単位制高校として、地域から信頼される学校を目指しています。また、本校の先生方は、皆、教育への強い使命感と情熱を持った先生方ばかりですので、安心して勉学に、部活動に励んでください。皆さんの夢の実現のため、全力でサポートします。

結びになりますが、私ども教職員一同、大切なお子様をお預かりし、学校とご家庭が、子どもを育てるという社会的責務を共有し、共通理解のもと、十分連携を図りながら、安心安全な学校生活を送れるよう最善の体制の中で教育活動を展開していくこととお約束いたします。

ご来賓の皆様方、そして、保護者の皆様方の、本校への深いご理解と力強いご支援を今後ともお願い申し上げますとともに、本日入学された新入生の皆さんの洋々たる前途を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和五年四月十日 北海道小樽桜陽高等学校長 西 川 勤